

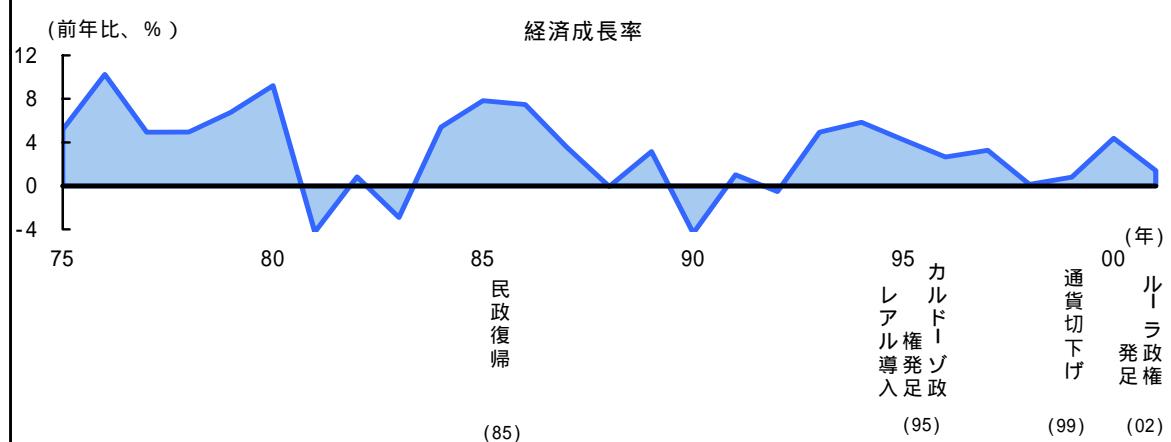
## 21 ブラジル

## Federative Republic of Brazil

<2002年>

人口	1億7,463万人 (日本の約1.4倍)	財政会計年度	1月～12月
一人当たり G D P	2,583 ドル	為替制度	変動相場制
産業構造(G D P構成比)	1次産業 7.7 % 2次産業 35.5 % 3次産業 56.7 %	通貨	レアル 1米ドル=2.921レアル
		面積	851.2万km <sup>2</sup> (日本の約22.5倍)

### <ブラジル経済のこれまで>



### ブラジルの主要経済指標

		92～01年		2002年		2003年		2004年		民間機関
		政府	I M F	政府	I M F	政府	I M F	政府	I M F	
実質G D P	前年比%	2.7	1.5	0.5	1.5	3.5	3.0	実質G D P		
鉱工業生産	同上	2.4	2.4	-	-	-	-	2003年		
消費者物価	同上	506.6	8.5	9.2	15.0	6.3	6.2	平均	1.4	
失業率	%	6.1	11.7	-	-	-	-	最大	2.3	
経常収支	億米ドル	174.9	76.9	32.0	-	40.0	-	最小	0.7	
(G D P比)	%	( 2.6)	( 1.7)	-	( 0.8)	-	( 1.5)	2004年		
財政収支	億米ドル	49.9	107.1	-	-	-	-	平均	3.3	
(G D P比, 年度)	%	( 0.8)	( 2.4)	-	-	-	-	最大	4.1	
政府債務残高	億米ドル	1,265	1,588	-	-	-	-	最小	2.4	
(G D P比, 年度末)	%	( 20.7)	( 35.2)	-	-	-	-	(23社)		

(備考) 1. ブラジル中央銀行、ブラジル地理院、I M F "International Financial Statistics"、政府見通しは、I P E A

(企画庁応用経済研究所、2003年9月)、I M Fの見通しは"World Economic Outlook" (2003年9月)。

2. 失業率は、2002年から対象が15歳以上から10歳以上に変更となっているため、それ以前と接続しない。

### <2003～2004年の経済>

2003年前半の経済成長率は前年比1%弱となり、経済危機後の2002年後半から続いている伸びが鈍化した。これは、2002年9月以降続いているインフレ抑制のための金融引き締めが需要を抑制したことなどが要因となっている。その後、インフレ率は低下し、金融緩和政策がとられているため、2003年後半は次第に回復に向かうとみられている。2003年全体では1%程度の経済成長が見込まれているが(政府見通し0.5%、I M F見通し1.5%、民間機関23社平均見通し1.4%)、年前半が当初予想以上に悪かったため、春時点(2.0%)から下方修正されている。

2004年は3%程度の経済成長が見込まれる(政府見通し3.5%、I M F見通し3.0%、民間機関23社平均見通し3.3%)。金融緩和が続き、経済成長率も回復する見通しである。インフレ率や為替レートは落ち着いてきているものの、高い失業問題等が下方リスクとなっている。